

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察注意報について(送付)

このことについて、令和3年度(2021年度)病虫害発生予察注意報第1号を公表しましたので、送付します。

## 注 意 報

### 令和3年度(2021年度)病虫害発生予察注意報第1号

農作物名 カンキツ類  
病虫害名 ミカンハダニ

- 1 発生地域 県内全域(カンキツ栽培地域)
- 2 発生時期 5月上旬以降
- 3 発生程度 平年比 多

#### 4 注意報発表の根拠

- (1) 本年2月からミカンハダニの発生が多い傾向にある。4月に実施した巡回調査において、雌成虫の寄生葉率は22.0%(平年2.6%、前年8.4%)、10葉当たりの寄生頭数は13.6頭(平年0.4頭、前年1.6頭)であり、寄生葉率・10葉当たりの寄生頭数ともに過去10年と比較して最も多かった(図1、2)。
- (2) 本年は2月から4月にかけて、気温が平年より高く、降水量が平年より少なく推移し(図3、図4)、本害虫の増殖にとって平年に比べて好適な条件が継続した。また、福岡管区气象台が4月29日に発表した九州北部地方1か月予報によると、向こう1か月の気温は平年に比べて高いもしくは平年並の予想であり、今後もミカンハダニが多発生することが予想される。

#### 5 防除対策

本害虫の春期の多発生は、新葉の加害による光合成機能の低下を引き起こし、旧葉の落葉も助長する。今後の気温上昇により本害虫の増殖が促進し、発生がさらに多くなると予想されることから、以下の防除対策を行う。

- (1) 特に越冬期から発芽前にかけてマシン油乳剤で防除を実施していない園では多発生する恐れがあるので、園内での発生に注意し、発生が認められる場合には薬剤散布により防除する。
- (2) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。



写真1 ミカンハダニ



写真2 ミカンハダニによる被害葉

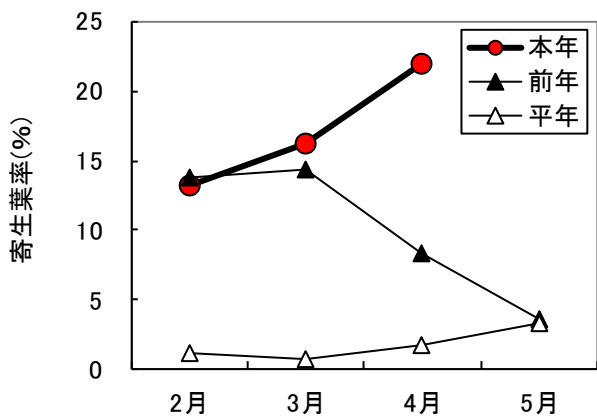


図1 ミカンハダニの寄生葉率の推移  
※平年値は過去10か年平均

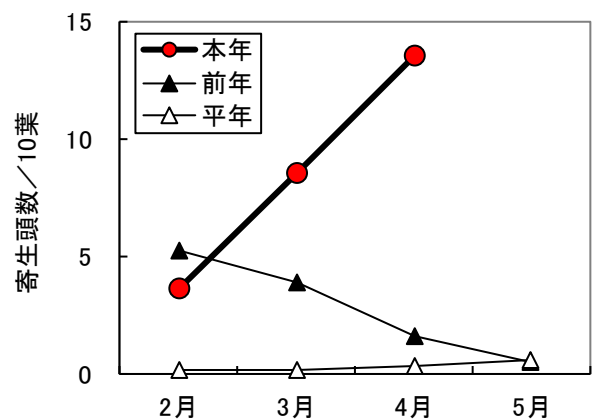


図2 ミカンハダニの寄生頭数の推移  
※平年値は過去10か年平均

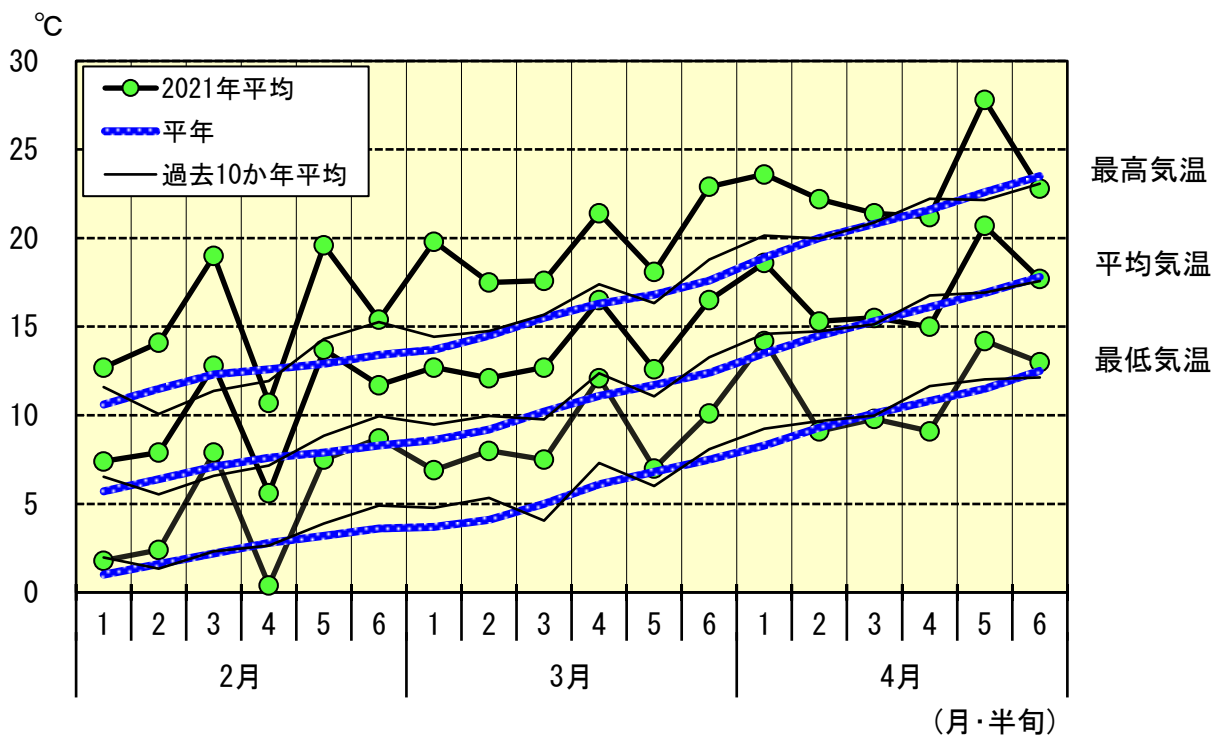


図3 熊本市の気温の推移 (最高・平均・最低)

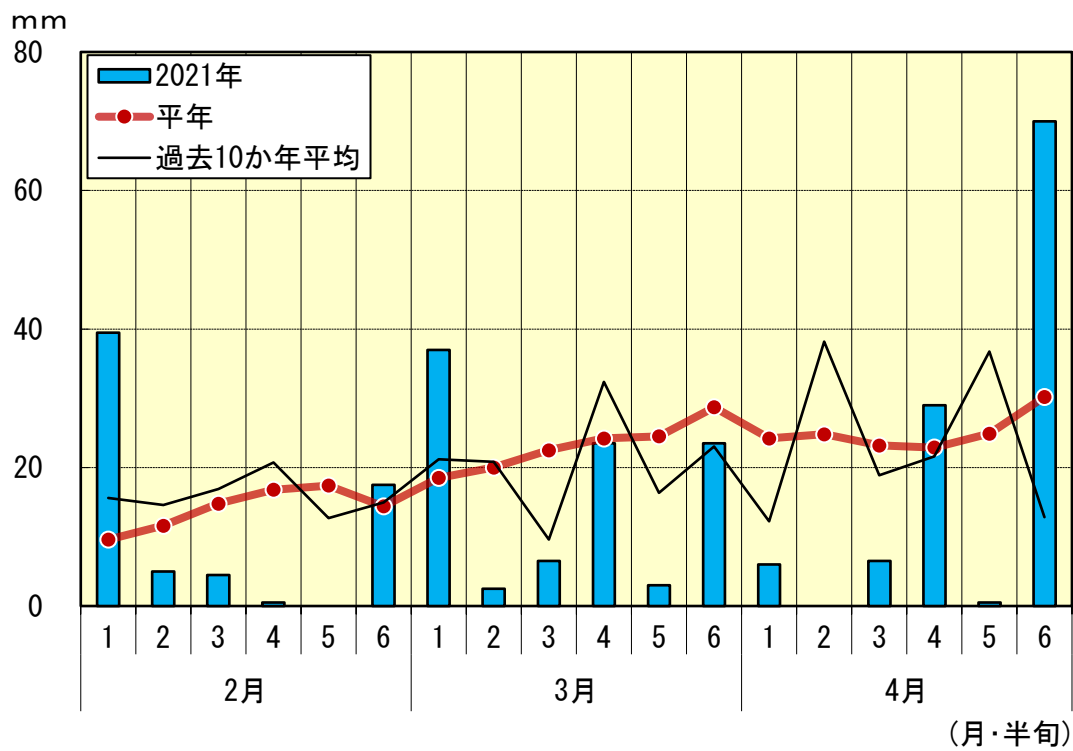


図4 熊本市の降水量の推移

熊本県農業研究センター 生産環境研究所  
 予察指導室 (病害虫防除所)  
 担当：岡島、中村 TEL：096-248-6490